

川の擬音まつり

ねらい 日本語の多様性、日本人の自然観の豊かさを感じます。

時間 45分

場所 川、海

人数 何人でも

季節 いつでも

用具 自然の素材、筆記用具

手順

お題に合う（擬音）イメージのものを一瞬で探して持ってきます。

（海藻、貝など、海辺や川岸に落ちているもの）

（例）

「によろによろ」するもの、「さらさら」するものは、などと出題します。制限時間は1分くらいです。

●結構難しいですが、リズムと思い切りが大切です。

●インスピレーションが問われ、発想をやわらかくするのに役立ちます。

●つかみ（参加者にプログラムに興味を持ってもらう）の部分で使われるものなので、参加者の持ってきたものをほめてその気にさせ、それぞれの流儀に自信を持たせることが大切です。

ポイント

自然の素材が豊富にあるところを選ぶと良いでしょう。

